

38 番の歌 神はあなたを強い人にしてください

あなたは大切な人です

「あなたは大切な人だからです」。ダニエル 9:23

ポイント：自分に自信が持てないとしても、あなたはエホバにとって大切な人です。どうしたら心からそう思えるようになるのでしょうか。

1-2. どうすればエホバから大切にされていると心から思えるようになりますか。

エホバに仕える人たちはみんな、エホバにとってとても大切な存在です。でも中には、自分なんか駄目だという気持ちに悩まされている人もいます。過去にひどい扱いを受けたり、十分に愛情を注いでもらえなかったりしたせいかもしれません。あなたもそうですか。ではどうすれば、エホバから大切にされている、と心から思えるようになるのでしょうか。

2 エホバは聖書を通して、人がどのように扱われるべきかを教えています。イエスは人に親切にし、敬意を込めて接しました。その接し方から、イエスとイエスのお父さんエホバが、自分には価値がないと感じてしまう人のことも大切に思っていることが分かります。（ヨハ 5:19 それでイエスはユダヤ人たちにこう言った。「はっきり言っておきますが、子は自分からは何一つ行えず、父がしていることを見て行えるにすぎません。何でも父がすることを子も同じように行います。ヘブ 1:3 神の子は、神の栄光を反映し、神の本質を完全に表していて、力強い言葉によって全てのものを支えています。そして、私たちが罪から清めた後、天で威光に輝く神の右に座りました。）この記事では次のことを考えます。（1）イエスは、一人一人がエホバから大切にされていると思えるようにどんな接し方をしたのでしょうか。（2）どうすれば、自分がエホバにとってとても大切な存在だと心から思えるようになるのでしょうか。（ハガ 2:7 『また、私はあらゆる国を揺り動かす。あらゆる国の貴重な(*好ましい)ものが入ってくる。私はこの家を栄光で満たす』と、大軍を率いるエホバは言う。)

イエスは、一人一人が自分の価値に気付けるようにした

3. イエスはガリラヤで助けを求めてきた人たちにどんな接し方をしましたか。

3 イエスはガリラヤを回る3度目の伝道旅行の時、いろいろな地方からやって来た人たちに教え、病気を治してあげました。イエスはその人たちが「羊飼いのいない羊のように痛めつけられ、放り出されて」いることに気付きました。（マタ 9:36 群衆を見て、かわいそうに思った。羊飼いのいない羊のように痛めつけられ、放り出されていたからである。注釈 かわいそうに思った: この表現で使われているギリシャ語動詞スプラクニゾマイは「腸」を意味する語（スプラクナ）と

関係があり、内奥の強い感情を指す。思いやりを表す極めて強いギリシャ語。 **痛めつけられ:** このギリシャ語は元々「皮を剥ぎ取られる」ことを意味し、野生動物によって皮を引き裂かれた羊、いばらやとがった岩の間をさまよって皮が裂けた羊のイメージを伝えている。比喩的に使われるようになり、「虐待される」、「悩まされる」、「傷つけられる」ことを意味する。 **放り出され:** ここでは、投げ捨てられて弱り切った無力な羊のイメージ。比喩的に、群衆が見過ごされ、打ちひしがれ、無力であるという考えを伝えている。(を参照) 彼らは宗教指導者たちから「**神に見放されている**」と言われ、**見下され**ていました。(ヨハ 7:47-49 それに対してパリサイ派の人たちは言った。「あなたたちまで惑わされたというのか。 48 支配者やパリサイ派の中に彼に信仰を持った人がいるか。 49 律法を知らないあの群衆は神に見放されているのだ」と**注釈神に見放されている:** 誇り高く独善的なパリサイ派の人やユダヤ教の指導者は、イエスの話を聞く一般の人々を見下し、「神に見放されている」と言った。ここで使われているギリシャ語エパトスは軽蔑を表す語で、そのように言われた人が神から災いを宣告されているという意味だった。ユダヤ人の宗教指導者は、ヘブライ語のアムハーアレーツ、つまり「地の民」という言葉も使い、一般の人々への軽蔑を言い表した。元々この語は、ある地域の住民を指す敬意のある言葉であり、貧しくて立場の低い人々だけでなく、著名な人たちも指した。(創 23:7。エゼ 22:29) しかしイエスの時代には、モーセの律法に関して無知と見なされた人々や、ラビの伝承の細かな点を守らない人々を指して使われた。後代のラビの著作にもそのような見方が出ている。多くの宗教指導者は、そのような人々を侮蔑し、食事を共にしたり、商取引をしたり、交友を持ったりしなかった。) でも**イエス**はそういう人たちを**大切に**し、**優しく接**しました。**時間を取って教え**、**病気を治**しました。(マタ 9:35 イエスは全ての町や村を旅して回り、会堂で教え、王国の良い知らせを伝え、あらゆる病気や不調を治した。) イエスは**もっとたくさんの人たちを助**けたいと思っていたので、**上手に伝道**できるよう使徒たちを**トレーニング**し、**病気を治す権限**を与えました。(マタ 10:5-8 イエスはこの12人に次の指示を与えて遣わした。「異国の人々の所に行ってはならず、サマリア人の町に入ってはなりません。 6 いつも、イスラエル国民の迷い出た羊の所に行きなさい。 7 行って、『天の王国は近づいた』と伝道しなさい。 8 病気の人を治し、死んだ人を生き返らせ、重い皮膚病の人を癒やし、邪悪な天使を追い出しなさい。ただで受けたのです。ただで与えなさい。)

4. 周りから見下されていた人々へのイエスの接し方から、どんなことが学べますか。

4 イエスは**どんな人にも**、**思いやり深く敬意のこもった接し方**をしました。そうやって、**世の中**で見下されている人々も**エホバとイエス**にとって**大切な存在だ**ということを**伝え**ました。自分には価値がないと思ってしまう時、イエスが、**社会では目立たなくても**イエスから**ぜひ学びたい**と思う人々を**大切に**した、ということを考えてください。そうすれば、**自分**が**エホバ**にとって**大切な存在**だと思えるようになります。

5. イエスはガリラヤでどんな女性に会いましたか。

5 イエスは**大勢の人たち**を**教え**ましたが、**一人一人にも気を配**りました。ガリラヤで伝道していた時のことです。**12年間出血が続いている女性**に出会いました。(マル 5:25) ところで、**12年間**

も出血が続いている女性がいた。) この女性は律法では汚れた人とされ、彼女に触れた人も汚れた人となりました。それで、周りの人との接触はかなり限られていたはずですが。仲間と一緒にエホバを崇拜したり、祭りを祝ったりすることはできませんでした。(レビ 15:19 女性は月経のために血の流出がある場合、7日間汚れている。その女性に触れた人は夕方まで汚れた人となる。、25 女性の血の流出が、月経期間ではないのに何日もある場合、あるいは普段の月経期間より長く続く場合、その人は流出がある間ずっと、月経の時と同じく、汚れた人となる。) 体調が悪いだけでなく、こんな自分には価値がない、という気持ちに悩まされていたかもしれません。(マル 5:26 多くの医者にかかってはひどい苦しみを味わい、資産を使い果たしたのに少しも良くなり、かえって悪くなっていた。)

6. 病気の女性はどのようにして癒やされましたか。

6 苦しんでいたこの女性は、イエスに治してもらいたいと思っていましたが、直接お願いすることはしませんでした。どうしてでしょうか。病気のせいで引け目を感じ、恥ずかしく思っていたのでしょう。あるいは汚れた状態の自分が人混みに行ったら、イエスから叱られるのではないかと不安だったのかもしれません。それで、病気が良くなると信じてイエスの外衣にそっと触りました。(マル 5:27, 28 その女性はイエスの評判を聞いて、群衆の中でイエスの後ろから近づき、外衣に触った。28 「あの方の外衣に触るだけで良くなる(*救われる)」と言い続けていたのである。) 信じていた通り、病気は治りました。でもその時、イエスが自分に触ったのは誰かと尋ねます。女性は自分がしたことを正直に打ち明けます。ではイエスはどのようにするのでしょうか。

7. イエスは、苦しんでいた女性にどんな接し方をしましたか。(マルコ 5:34)

7 イエスはとても優しく、思いやりのある接し方をしました。その女性が「恐れて震え」ている様子に気付いていました。(マル 5:33 女性は、自分の身に起きたことが分かり、恐れて震えながら進み出て、イエスの前でひれ伏し、全てをありのままに話した。) 女性の心配な気持ちが痛いほどよく分かったので、安心してほしいと思って「娘よ」と呼び掛けました。その表現は単に丁寧なだけでなく、優しい愛情のこもった言葉でした。(マルコ 5:34 イエスは言った。「あなたが良くなった(*救われた)のは信仰があったからです。安心して暮らしてください。つらい病気は治りました。」と脚注 あなた: 直訳、「娘よ、あなた」。イエスが女性に直接「娘よ」と語り掛けたという記録に残る唯一の事例。配慮が必要な状況で、女性が「震え」ていたため、そう呼んだのかもしれない。(マル 5:33。ルカ 8:47) 愛情を示すこの表現は、女性の年齢を示す呼び掛けではなく、イエスの優しい気遣いをはっきり表すものだった。安心して暮らしてください: 直訳、「平和のうちに行きなさい」。この慣用表現はギリシャ語聖書でもヘブライ語聖書でも、「あなたにとって事がうまく運びますように」という意味でよく使われている。(ルカ 7:50; 8:48。ヤコ 2:16。サー 1:17; 20:42; 25:35; 29:7, サ二 15:9, 王二 5:19 と比較。) しばしば「平和」と訳されるヘブライ語(シャーローム)は広い意味を持つ語で、戦争や騒乱がないことを指し(裁 4:17。サー 7:14。伝 3:8)、健康や安全(サー 25:6, 脚注。代二 15:5, 脚注。ヨブ 5:24, 脚注)、福祉(エス 10:3)、友情(詩 41:9)という考えを伝えることもある。ギリシャ語聖書で、「平和」に当たるギリシャ語(エイレーネー)もヘブライ語の場合と同じく広い意味合いで使われていて、争いが

ない状況だけでなく、健康、救い、調和という考えを表現している。 **つらい病気**: 直訳、「むち打ち」。この語は字義的には、しばしば拷問のために行われるむち打ちを指す。(使徒 22:24。ヘブ 11:36) ここでは比喩的な意味で使われていて、この女性の病気から来る苦しみを印象的に表現している。(を読む。) この聖句の**注釈**には次のように書かれています。「**イエスが女性に直接『娘よ』と語り掛けた**という記録に残る**唯一の事例**。**配慮が必要な状況**で、女性が『**震え**』していたので、**そう呼んだ**のかもしれない」。女性は**どんなにほっとしたこと**でしょう。もし**イエスが優しい言葉を掛けてくれなかったら**、体は元気になっても、自分のしたことに**後ろめたさをずっと感じる**ことになったかもしれません。でもイエスのおかげで、**自分はエホバにとって大切な娘のような存在**なんだと**気付く**ことができました。

8. ブラジルのある姉妹はどんな**つらい思い**をしていましたか。

8 現代でも、エホバに仕える人が**病気を抱え**、**つらい思い**をすることがあります。ブラジルで**開拓奉仕**をしている**マリア姉妹**は、**生まれつき体が不自由で左手と両足がありません**。***一部の名前は変えてあります**。こう言っています。「体のことで**学校ではいつもいじめられ**、**ひどいあだ名**を付けられたりもしました。**家族からとても冷たい仕打ち**を受けたこともあります」。

9. マリア姉妹が自分は**エホバにとって大切な人だ**と思えるようになったのはどうしてですか。

9 **マリア姉妹**は、**エホバの証人になった**ことが**きっかけ**で**自分にも価値があると気付**きました。**仲間の兄弟姉妹が優しく接してくれた**ので、**エホバの温かい気持ちを感じ取れる**ようになりました。こう言っています。「**みんながどれほど良くしてくれたか**を書こうとしたら、ノート1冊にはとても収まらないと思います。**エホバが私を素敵な家族の中に入れてくれた**ことを本当に感謝しています」。マリア姉妹は**兄弟姉妹のおかげ**で、**自分はエホバにとって大切な人**なんだと思えるようになりました。

10. **マリア・マグダレネ**は、**どんな問題**に悩まされていましたか。(挿絵も参照。)

10 **マリア・マグダレネ**のことも考えてみましょう。この女性は**邪悪な天使7人に取りつかれて**いました。(ルカ 8:2 **邪悪な天使から解放され病気を癒やされた女性たちもいた。邪悪な天使7人を追い出してもらった、マグダレネと呼ばれるマリア**、) そのために**奇妙な行動を取る**ことがあったはずですが、**周りの人からも避けられていた**かもしれません。きっとマリア・マグダレネは**みんなから嫌われていると感じ**、**不安でさみしい日々**を送っていたことでしょう。でも、**おそらくイエスに邪悪な天使を追い出してもらい**、**イエスの弟子になりました**。イエスは、**マリア・マグダレネ**



が神にとって大切な存在だと感じられるように、**ほかにもどんなことをした**のでしょうか。

イエスはマリア・マグダレネがエホバにとって大切な存在だと感じられるようにどんなことをしましたか。(10-11節を参照。)

11. イエスは、マリア・マグダレネが神にとって大切な存在だと感じられるように、どんなことをしましたか。（挿絵も参照。）

11 **マリア・マグダレネ**は、イエスから伝道旅行に付いてくるよう誘われました。***マリア・マグダレネ**は、イエスと一緒に旅をした女性たちの1人だったようです。その女性たちは自分の持ち物を使ってイエスと弟子たちの身の周りの世話をしていました。（マタ 27:55, 56 **多くの女性たちが、離れた所で見ていた。ガリラヤからイエスに同行して仕えていた人たちである。56** その中には、マリア・マグダレネ、ヤコブとヨセの母親マリア、ゼベダイの子たちの母親がいた。ルカ 8:1-3 **その後すぐ、イエスは町から町へ、村から村へと旅をし、神の王国の良い知らせを広めた。12** 人が一緒にいた。2 **邪悪な天使から解放され病気を癒やされた女性たちもいた。邪悪な天使7人を追い出してもらった、マグダレネと呼ばれるマリア、3** また、ヘロデ家の管理人クーザの妻ヨハンナ、スザンナ、その他多くの女性たちである。この女性たちは、自分の持ち物を使ってイエスと使徒たちに仕えていた。）それで**イエスの教えを聞く機会**がたくさんあったはずですが、**イエスは生き返った日に、マリア・マグダレネの前に**現れました。イエスが復活してすぐに会った弟子たちの1人がマリア・マグダレネでした。その時**イエスは自分が復活したことを使徒たちに知らせたいと頼み**ました。こういういろんな出来事を通して、マリア・マグダレネは、**エホバから本当に大切にされていると感じたに違**いありません。（ヨハ 20:11-18 **一方、マリアは墓の外に立ったまま泣いていた。泣きながら前かがみになって墓の中をのぞくと、12** イエスの体が置いてあった所に、白い衣服をまとった天使2人が座っていた。1 **人は頭の上、1人は足の所に**である。13 **2人は言った。「なぜ(d*女性よ、なぜ)泣いているのですか」。** マリアは言った。「誰かが私の主を運び去り、どこに持っていったのか分からないのです」。14 **こう言った後、振り返ると、人が立っているのが見えたが、それがイエスだとは気付かなかった。15** イエスはマリアに言った。「なぜ(d*女性よ、なぜ)泣いているのですか。誰を捜しているのですか」。 マリアは、それが庭師だと思って、こう言った。「もし主を移動させたのでしたら、どこに置いたのか教えてください。私が引き取ります」。16 イエスは、「マリア！」と言った。マリアは向き直ると、ヘブライ語で、「ラボニ！」（「先生」という意味）と言った。17 イエスは言った。「私にすがり付くのはやめなさい。私はまだ父のもとへ上っていません。でも、私の兄弟たちの所に行って、こう伝えなさい。『私は、私の父であなたたちの父である方、私の神であなたたちの神である方のもとへ上る』」。18 マリア・マグダレネは行って、「主を見ました！」と弟子たちに知らせ、イエスが言ったことを伝えた。)

12. リディア姉妹が自分は嫌われていると思うようになったのはどうしてですか。

12 今でもマリア・マグダレネと同じように、**自分は嫌われているという気持ちに悩ま**されている人がいます。スペインの**リディア姉妹**の母親は、**姉妹を身ごもった時、中絶を考**えていました。姉妹は**小さい頃から母親にネグレクト**され、**ひどいことを言われ**ていたのを覚えています。こう言っています。「**とにかく誰かに受け入れてほしい、愛されたい**と思っていました。でも同時に、**自分なんてどうせ愛されないという気持ち**もありました。**駄目な人間**だとずっと**母に言われ続け**てきたからです」。

13. リディア姉妹はどのようにして、自分がエホバにとって大切な人と理解できるようになりましたか。

13 **リディア姉妹は聖書を学んで変わ**りました。**エホバに祈り、聖書を読む**ことによって、**自分がエホバにとって大切な人と理解**できるようになりました。また、**仲間から優しい言葉を掛けら**

れ親切にされたことも力になりました。こう言っています。「夫は、私をどれほど大事に思っているかをよく伝えてくれます。私のいいところをちよくちよく言ってくれるんです。友達も私のことをよく褒めてくれます」。会衆にリディア姉妹のような人がいますか。その人がエホバから愛されていると感じられるように、あなたにもできることがありますか。

エホバが見てくれているように自分自身を見るには

14. サムエル第一 16 章 7 節からすると、エホバは私たちのどんなところに注目していますか。（「エホバにとって特に大切な存在」の囲みも参照。）

14 **エホバの見方が世の中の人の見方とは違うことを忘れない。**（サムエル第一 16:7）しかしエホバはサムエルにこう言った。「彼の容姿や背の高さに注目してはいけない。私は彼を選んでいない。人間の見方と神の見方は違う。人間は目に見えるものを見るが、エホバは心の中を見る」。を読む。）エホバは、あなたの外見や社会的立場や受けた教育で、あなたの価値を測ったりはしません。（イザ 55:8, 9 エホバはこう宣言する。「私の考えはあなたたちの考えとは違い、あなたたちの行い(*道)は私の行いとは違う。9 天が地より高いように、私の行い(*道)はあなたたちの行いより高く、私の考えはあなたたちの考えより高い。）それで、世の中の人が自分をどう見ているかではなく、エホバが自分をどう見ているかを大切にしましょう。エホバと同じように自分を見るために何が役立ちますか。聖書には、エリヤ、ナオミ、ハンナなど、自分には価値がない、と感じてしまった人たちが出てきます。聖書を読むと、そういう人たちもエホバにとってはかけがえのない存在だったことが分かります。また、自分がエホバから愛され、大事にされていると感じた時のことを書いておくことも役立ちます。「価値がない」とか「自信が持てない」などのフレーズで検索し、資料を探してみてください。*例えば「エホバに近づきなさい」の本の第 24 章「何ものも神の愛から私たちを引き離すことはできない」や、「クリスチャンのための聖句ガイド」の「自信が持てない」のトピックにある聖句や聖書中の例を見てください。

エホバにとって特に大切な存在

私たち人間は、動物とは全く違います。人間はエホバについて学び、エホバとの友情を育てていけるように造られています。（創 1:27 それから神は人を自分に似た者、神に似た者として創造した。男性と女性を創造した。詩 8:5 あなたは、人を神のような者(*天使)たちより少し劣る者とし、栄光に輝く冠を授けた。; 25:14 エホバは、ご自分を畏れる人を親しい友とし、契約を知らせる。イザ 41:8 「しかし、イスラエルよ、あなたは私に仕える者であり、ヤコブよ、私が選んだあなたは、私の友アブラハムの子孫である。）そのことを考えるだけでも、私たちには確かに価値があると分かります。でも、エホバと本当に親しくなり、献身し、エホバに従うなら、私たちはエホバにとって特別な存在になれます。（イザ 49:15 女性が自分の乳を飲ませている子を忘れてたり、自分が産んだ子を思いやらなかつたりするだろうか。たとえ女性たちが忘れたとしても、私があなたを忘れることは決してない。）

15. エホバがダニエルを「大切な人」と見ていたのはどうしてですか。（ダニエル 9:23）

15 **ずっと誠実に仕えてきた人をエホバは大切に**する、**ということ**を**忘れない**。預言者**ダニエル**は、おそらく**90代後半の頃**、「**疲れ切って**」**元気が出なくな**ってしまいましたことがあります。(ダニエル 9:20, 21 私はこのように声を出して祈り、自分の罪と自分の民イスラエルの罪を告白し、私の神の聖なる山に関して、私の神エホバに恵みを求めていた。21 私が声を出して祈っていると、以前に幻の中で見た人**ガブリエル**が私の所にやって来た。夕方の供え物をする頃で、私は**疲れ切っていた**。) **エホバ**はそんな**ダニエルのために何を**したのでしょうか。天使**ガブリエル**を遣わして、**ダニエルが「大切な人**」で、**ダニエルの祈りが聞か**れていることを**伝え**ました。(ダニエル 9:23 **あなたが懇願し始めた時に神が述べられた言葉を、私は伝えに**来ました。**あなたは大切な(*高く評価されている/神に愛されている)人**だからです。それで、このことについてよく考えて、幻を理解しなさい。を**読む**。) **エホバ**が**ダニエルを大切に思**っていたのは**どうして**でしょうか。**正しいことを愛し**、**エホバにずっと誠実に仕**えてきたからです。(エゼ 14:14 「『たとえ**ノア、ダニエル、ヨブの3人が国の中にいたとしても、彼らは自分たちの正しさゆえに自らを救うことしかできない**』と、主権者である主エホバは宣言する。’) **エホバ**は私たちに、こういう**聖書の記録を**読んで**力を得てほしい**と思っています。(ロマ 15:4 **以前に書かれた事柄は皆、私**たちを教えるために書かれました。そのおかげで**私たちは忍耐でき、聖書から慰めを得られるので、希望を持って**いられます。’) **エホバ**は**あなたの祈りも聞**いていて、**あなたのことを大切な人**と**思**っています。あなたが**正しいことを愛し**、**エホバに誠実に仕**えているからです。(ミカ 6:8 **神はあなたに、何が善いことかを**伝えた。**エホバがあなたに求**めていることは何か。**ただ公正を守り(*公平であり)、揺るぎない愛を抱き(*愛して親切に尽くし)、慎みを持って神と共に歩むこと**である。**ヘブ 6:10** **皆さんはこれまでずっと聖なる人たちに仕**え、**今も仕**え続けています。そのようにして、**神の名を愛**していることを示してきました。**神は不公正な方ではないので、そうした働きや愛を忘れたり**はされません。)

16. **どんなことを**考えると、**エホバが優しいお父さん**だと思えるようになりますか。

16 **エホバがどれほど優しいお父さん**なのかを**忘れない**。エホバは**あなたを支**えたいと思っています。**あら探しを**したりは**し**ません。(詩 130:3 **ヤハ(*よ、もしあなたが過ちに注目(*を記録)する**なら、**エホバよ、誰が立**ってられるでしょうか。**マタ 7:11** **それで、あなたたちが罪深い人間**でありながら、**子供に良い贈り物**を与えることを心得ているのであれば、**まして天にいる父は、ご自分**に求めている人に**良いもの**を**与**えてくださるのです。**ルカ 12:6, 7** **スズメ 5羽は小額の硬貨 2枚**で売っていませんか。それでも、その**1羽**でさえ**神に忘**れられる(***神にないがしろにされる/神の目に留まらない**)ことはありません。7 **ところが、あなたたちは髪**の毛まで**全**て**数**えられています。恐れることは**あり**ません。あなたたちは**たくさん**の**スズメ**より**価値**があるのです。) **多くの人は**そういう**エホバの優しさ**を**じっくり考**えることで、**自分**なんか**駄目**だという気持ちを**振り払**えました。スペインの**エリアナ**姉妹もそうでした。姉妹は**夫**から長い間、**言葉**の暴力を受けたせいで、**自分**は誰からも**愛**されて**いないし価値**がないと**感**じるようになりまし**た**。こう言っています。「**自分**なんてと**感**じてしまう時はいつも、**エホバ**が私を**そ**っと腕に抱きかかえ、**優しく守**ってくれているところを**思**い浮かべるようにしています」。(詩 28:9 **あなたの民を救**い、**あなたの財産**である人々を**祝**福してください。**牧者**として**導**き、**腕**に抱いてください、**永遠**に。’) 南アフリカの**ローレン**姉妹はこう言っています。「**エホバ**は**愛**の綱で私を**優**しく引き寄せ、その後も**ず**

っと私をそばに置いてくれています。私がほかの人にエホバについて教えられるようにもしてくれています。私は間違いなくエホバにとって大切な存在なんだと思います」。 (ホセ 11:4 親切の (d*人間の/親が子供に歩き方を教える時に使うような、という意味だと思われる) 縄で、愛の綱(ツナ)で、私は彼らを導き続けた。彼らの首(d*顎)からくびき(*)を外してやり、それぞれに優しく食べ物を与えた。)

17. どうしたらエホバから喜ばれていることを心から信じられますか。 (詩編 5:12) (写真も参照。)

17 **自分がエホバから喜ばれていることを心から信じる。** (詩編 5:12 エホバ、あなたは正しい人を祝福してください。大盾で囲むように、恵みで覆ってください。を読む。) **ダビデ**はエホバの恵みを、**正しい人たちを守る「大盾」に例えました。**つまり、**自分がエホバに喜ばれ支えられていることが分かれば、自信を失って弱気にならないように守られる**ということです。では、エホバから喜ばれていることはどうしたら分かるのでしょうか。すでに考えた通り、①エホバは聖書を通してそのことをはっきり伝えてくれています。②長老たちや親しい友達などを通して、あなたが神にとって大切な人だと改めて気付かせてくれます。そういう仲間から温かい言葉を掛けられたとき、どう受け止めたらいいでしょうか。



エホバに喜ばれ支えられていることが分かると、自信を持てるようになる。(17節を参照。)

18. 褒め言葉を素直に受け止めるのが大切なのはどうしてですか。

18 **あなたのことをよく知っていて気遣ってくれる人たちからの誠実な褒め言葉を、素直に受け止めてください。**エホバはあなたのことを大切に思っているので、そういう人たちを通して褒めてくれている、ということをお忘れなくください。先ほどの**エリアナ姉妹**もこう言っています。「**少しずつですが、周りからの優しい言葉を素直に受け止められるようになって**います。簡単ではありませんが、**エホバは私にそうしてほしいと思**っているんです」。長老たちの温かいサポートもあり、**エリアナ姉妹はエホバから愛されていることが分かるようになって**きました。今では開拓奉仕やベテルのリモート・ボランティアの奉仕を楽しんでいます。

19. 自分がエホバにとってかけがえのない存在だと信じられるのはどうしてですか。

19 **イエスは私たち一人一人が、お父さんエホバにとってかけがえのない存在だと伝えて**くれています。(ルカ 12:24 **ワタリガラスのことを考えなさい。種をまいたり刈り取ったりしませんし、納屋も倉も持っていません。それでも神はその鳥を養っています。あなたたちは鳥よりずっと価値があるのでは**ありませんか。)**エホバは私たちを大切な人と思**っています。**そのことをいつもお忘れなく**ください。そして、**仲間も自分がエホバに大切にされていると**感じられるように、**精いっぱい**助けに行きましょう。

何を学びましたか

1. イエスは一人一人がエホバから大切にされていると思えるようにどんな接し方をしましたか。

・S03 宗教指導者たちから「神に見放されている」と言われ、見下されていた人々を大切にし、優しく接しました。時間を取って教え、病気を治した。さらにもっとたくさんの人たちを助けたいと思っていたので、上手に伝道できるように使徒たちをトレーニングし、病気を治す権限を与えた。

・S04 イエスはどんな人にも、思いやり深く敬意のこもった接し方をし、世の中で見下されている人たちもエホバとイエスにとって大切な存在だということを伝えた。

2. イエスは、出血が続いてつらい思いをしていた女性にどう接しましたか。

・S07 イエスが女性に直接『娘よ』と語り掛けたので、病気が癒されただけでなく、自分のしたことに後ろめたさをずっと感じることはなく、自分はエホバにとって大切な娘のような存在なんだと気付くことができた。

3. エホバが見てくれているように自分自身を見るにはどうしたらいいですか。

・S14 エホバの見方が世の中の人の見方とは違うことを忘れない。自分がエホバから愛され、大事にされていると感じた時のことを書いておくことも役立つ。「価値がない」とか「自信が持てない」などのフレーズで検索し、資料を探してみる。

・S15 ずっと誠実に仕えてきた人をエホバは大切にす、ということを忘れない。エホバはダニエルにしたようにあなたの祈りも聞いていて、あなたのことを大切な人と思っている。あなたが正しいことを愛し、エホバに誠実に仕えているから。

・S16 エホバがどれほど優しいお父さんなのかを忘れない。エホバの優しさをじっくり考えることで、自分なんか駄目だという気持ちを振り払える。

・S17 自分がエホバから喜ばれていることを心から信じる。自分がエホバに喜ばれ支えられていることが分かっているならば、自信を失って弱気にならないように守られる。

139 番の歌 新しい世界を見つめて

△ 一部の名前は変えてあります。

△ マリア・マグダレネは、イエスと一緒に旅をした女性たちの1人だったようです。その女性たちは自分の持ち物を使ってイエスと弟子たちの身の周りの世話をしていました。(マタ 27:55, 56. ルカ 8:1-3)

△ 例えば、「エホバに近づきなさい」の本の第24章や、「クリスチャンのための聖句ガイド」の「自信が持てない」のトピックにある聖句や聖書中の例を見てください。

△ (ダニ 9:23) あなたが懇願し始めた時に神が述べられた言葉を、私は伝えに来ました。あなたは大切な*人だからです。それで、このことについてよく考えて、幻を理解しなさい。

または、「高く評価されている」、「神に愛されている」。